



立志 鍛錬 協調

第3号 令和7年6月30日

立三中

立川市立立川第三中学校
Tachikawa Daisan J.H. School

だより

毎年、年度当初に本校の学校目標ともいうべき学校経営計画を作成しています。4月26日（土）に行われた保護者会でもグランドデザイン（概要版）をお配りしご説明いたしましたが、その中の「目指す生徒像」にある「思いやりをもって自分から笑顔で明るい挨拶や声かけ、リアクションをとれる生徒」について、5月12日（月）の全校朝礼で三中生に話をしました。

リアクションと思いやりのキャッチボール

校長 敦澤 雅規

新学期が始まって、1か月ちょっと経ちましたが、新しいクラスにはなれましたか？1年生はもちろん、2、3年生も、今まであまり喋ったことがない仲間もいるのではないのでしょうか。また、学年が上がって、さらに「認め合い励まし合いながら共に成長できる」よう、今日は「リアクション」の話をします。

「リアクション」と聞くと、どんなことを思い浮かべますか？「やばいよやばいよ～」って言ったりする「リアクション芸人」を思い浮かべたりするのでしょうか。

ところでみなさんは、とてもよく「あいさつ」をすることができますよね。これまでに何度も元気な「あいさつ」をしてもらいました。

「あいさつ」って、「しよう」と思わないと言葉にしないわけで、「あいさつ」をしてくれた人は、小さな、もしかしたら大きな決心があって「あいさつ」をしているわけです。そのときに、「あいさつ」をした相手から、何か反応＝つまり「リアクション」があったら、「あいさつ」した人はとても嬉しいと思います。

「おはよう」と声をかけたら「おはよう」の「あいさつ」が返ってくるのはもちろんですが、例えば誰かが勇気をもって発言したり、頑張って発表したり、みんなのために注意やアドバイスをしてくれたりしたとき、どんな「リアクション」が可能ですか？…例えば「ありがとう！」。他にも「なるほど～！」とか「いいねえ～」とか「へえ～」などとリアクションをとってあげられたら、相手はうれしいですね。「拍手」。これも立派な「リアクション」です。うなずく、相槌を打つことでもいいと思います。つまり、「思いやりのキャッチボール」なんです。誰かが発言してくれたり行動してくれた時に、感謝やねぎらいの気持ちを相手に返してあげる。返してもらったら、また今度お返しをする…。この関係が今まで以上にできたら、きっとさらに温かい雰囲気のカラス、学年、そして三中になると思います。ぜひ「リアクション」を心がけてみてほしいと思います。

目指す生徒像としましては、他にも「自ら学び考え、主体的に物事に取り組み行動できる生徒」「心身ともに健康（よく食べよく寝てよく体を鍛える）で、夢の実現に向けて努力する生徒」を育成し、「自分を信じ、仲間を信じ、認め合い励まし合いながら共に成長する生徒」を目指して、チーム三中として取り組んでまいります。今後とも本校の教育活動にご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。